

地域や部活動の課題

○防犯パトロールのボランティアを行う... 事前会議に出るのはパトロールではないと人事課から回答があったが、方針を決めなければ活動はできないのでおかし... 思う。地域社会とつながる色んなものが見えてくるので、教員にとつて貴重な経験となるはず。感覚がおかしい。定時制は3人再任用など高齢層が多く、生徒からは「先生の言うことは古い」と言われる。担任をやっていると自信をなくすこともある。一言で言つて、人事がひどい。

○今回の「教育のつどい」は大阪から神谷先生に来てもらい、豊富な資料に基づいてご講演いただいた。部活動の地域移行は「金をかけずにいかにそれっぽいことをやるか」とバックボーンにある。仰つていた。2014年の方向転換が大きい。現状では、顧問の負担軽減のために、生徒が自主的に運営する方向に持つていく必要がある。

○2014年の安倍首相・下村文科大臣・谷川副大臣・自民党安倍派文教族の池田が何をやったかを忘れてはいけないが、マスコミは裏金問題を報じるだけで政治家(屋)と

して何をやったかは取り上げない。経産省主導で塾のようにお金を出して地域クラブへ行けばよいのでは、地方では成り立たないし、生徒の自主性も育たない。

○ニュージージラントのラグビーは家族ぐるみで人を育てている。地域がしっかりしているかが課題ではないか? 地域移行で地域が活性化すればよいが、高校の現実を見ていないのでは、ないかという不安もある。

○義務校では急いで進めている話を聞くが、指導者が確保できずに進むのでかえつて生徒間がややこしくなつてしまうケースもあり、仕事が増えたと感じることもあるようだ。

○部活動は学校での居場所づくりとして重要だが、それでも切り離れた方がよいのではないか? 本来授業を担当するだけの非常勤が、書道や和太鼓の顧問をしているといった現状から切り離して、部活動を再構築することも必要である。

○PTAとして関わっているが「ただ地域移行しろと言うだけで中身がないので現場は困っている」と校長が言っていた。社会全体で支えるしくみをつくる必要がある。

組織拡大へ向けて

○萩原書記長から「見える化」という話があったが、人と人とのつながり、学校を訪問して話をする... ことが大事だと思つてきた。青年部は青年でつなぐ必要がある、青年部ニュースを出すとか、大変だが見える動きをつくるべきだ。

○総合共済の加入は33人で、現勢回復を達成した。未組織校への全職員チラシ送付による加入が半数以上となつている。共済カフェは日時と場所だけ決めてもらえれば後はこちらが準備するので、人が集まらないのではないかと気にせずに、まずは気軽にやつてみてくださ... 自動車保険も反応はあるので、加入につなげたい。

萩原書記長総括

○一本化されて初の高校入試の課題、非常勤講師の待遇改善、「教育のつどい」の振り返りや部活動問題など、活発なご意見をいただき、ありがと

うございました。春闘に合わせて、3月12日に対県教委「春闘期要請行動」を行うので、その場でも訴えていきたいと考えています。役員選挙の投票では、不信任2票を入れていただき、健全でよいことだと感じています。色んな意見や考えを出し合い、会議の場で議論することが大事です。今年度の高教組のスローガン「仕方がないを変えていこう! 当たり前が実現できる職場にしよう!」を胸に、共に頑張りましょ



県高校教職員ボウリング大会開催!

本部・玉村合同チームが白熱したゲームを制す

2月23日(金・祝)、第20回群馬県高等学校教職員ボウリング大会がエメラルドボウル(前橋市)にて開催されました。今回は新たな試みとして、通常のルールを変更して行いました。チームの団結力が試された新ルールにより、ボウルだけではなく頭の中もぐるぐる回転させながらの白熱した試合展開となりました。参加は7チーム21名と少なめでしたが、ご家族の参加もあり、笑顔があふれる楽しい一日となりました。次回は6月を予定しています。腕に自信がある人も、ちょっと腰が痛い人も、みんなで一緒に楽しい汗を流しませんか? 多くの方の参加をお待ちしています。

【団体優勝】

- 1位 本部・玉村合同チーム
- 2位 高経附チーム
- 3位 大泉チーム 家族サービスの場でもあります



見事優勝した本部・玉村合同チーム

